

多良木町長 吉 瀬 浩一郎 様

多良木町議会議長 高 橋 裕 子

一般質問について

令和元年度第4回多良木町議会（9月定例会議）において、次のとおり質問される予定であるから、あらかじめ通知します。

質 問 者 ⑫落合 健治 議員

質 問 事 項	質 問 要 旨	質問の相手
1 中学校校舎について	(1)教育委員会、総合教育会議においても中学校の跡地についての話し合いは一切行われていないが、十分な議論がなされたと考えているのかを伺いたい  (2)7月会議において、中学校校舎改築事業費が組まれたが、町民のみなさんへの情報の公開はどの時期に、どんな方法でしていくのか  (3)現在の校舎は最短でも数年間、安全安心な勉強ができる環境を保全する必要があるが、専門的なコンサルタントを入れて計画保全していく考えはないのか	町 長 教育長
2 えびすの湯について	(1)平成30年度の収支状況並びに令和元年度の赤字解消に向けた改善策があるのか  (2)えびすの湯事業そのものの見直しはないのか	町 長
3 公衆トイレの設置について	(1)槻木地区は、久米地区より約20kmの距離があるが、途中でトイレが一切ない。現在も、介護サービスのための車がたくさん通る中、大変な思いをしている。途中で設置する考えはないか	町 長
4 部活動の対策について	(1)部活動廃止後、現状どのように認識しているのか  (2)各種団体に入部しやすくなるように、町費で補助することはできないのか  (3)中学校の部活動の廃止も予想できる中、本町の受け皿となる各種団体の定期的な話し合いは行われているのか	教育長

質 問 者 ②中村 正徳 議員

質 問 事 項	質 問 要 旨	質問の相手
1 総合開発計画について	(1) 第五次多良木町総合開発計画が来年度（令和2年度）で終了するが、新しいまちづくり計画はいつ頃から策定するのか。また、どのようなまちづくりを目指すのか。基本計画の中で目標を具現化するために重点的に進める政策は	町 長 教育長
2 防災計画について	(1) 自然災害等における本町の危機管理マニュアルについて	町 長
3 橋りょう工事について	(1) 町道上別府寺前線の堂山橋架替え工事が行われているが、地域経済に与える影響について調査されたか。また、進捗状況と完成時期はいつ頃か	町 長

質 問 者 ⑤村山 昇 議員

質 問 事 項	質 問 要 旨	質問の相手
1 多良木高校跡地について	<p>(1) 多良木高校跡地の活用法については、6月議会で町長が表明したように、支援学校と中学校を移設するという方向で合意形成がなされたと考える。今後、基本構想・基本計画と進んでいくと思うが、執行部の意志は変わることがないとの認識で間違いはないか</p> <p>(2) 町は6月25日、26日、28日と3日間、高校跡地の問題に特化した行政座談会で説明を行い、7月23日に槻木地区の行政座談会を行ったことをもって、高校跡地の問題については住民の合意形成ができたと考えているか</p> <p>(3) 7月26日の県が主催する移転整備に関する検討委員会の第1回目の会議の報告を受けたが、多良木町の意見をまとめるための町独自の委員会の構成メンバーは決まったのか。また、今後どのような形で論議が進められるのか</p> <p>(4) 高校跡地の町への管理委託は今後どのようなようになされていくのか。また住民が跡地を使用する場合、どのような手続が必要なのか</p>	町 長 教育長
2 非正規職員の待遇改善について	<p>(1) 本町の非正規職員の人数と全職員に占める非正規職員の割合を伺う</p> <p>(2) 地方公務員法及び地方自治法の改正に伴い、2020年度より新たな会計年度任用職員制度が創設されるが、この制度の概要を伺う</p>	町 長 教育長

	(3) 地方公務員法及び地方自治法の改正に伴い、本町では今後どのような整備を行うのか	
3 教員の働き方改革について	(1) 平成 28 年に文部科学省が実施した「教員勤務実態調査」によると、小学校教員の 33.4%、中学校教員の 57.7%が週 60 時間以上勤務、つまり月 80 時間以上の「過労死ライン」を超える時間外労働をしている。本町における小中学校教員の時間外労働の実態はどうか  (2) 教員の長時間勤務の改善について、どのように取り組んでいるか	教育長
4 防災対策について	(1) 自主防災組織について ア 平成 18 年に自主防災組織が結成されているが、結成している行政区数（組織率）と活動状況は イ 地域単位の自主防災組織が必要と思うが、どう考えるか ウ 認定要綱や育成事業補助金要綱は定めてあるか  (2) 防災士について ① 防災士を養成されてきたと思うが、現在の資格取得状況について伺う ア 資格取得者数は イ 防災士に対する講習会など、養成教育はしているか ウ 「防災士等連絡協議会」の活用については、どのように考えているか  (3) 行政区の地区集会所（公民分館）等について、災害時の自主避難等指定緊急避難場所として活用するため、耐震化する必要があると思うが、そのための補助制度を設ける考えは  (4) 「国土強靱化地域計画」として、また防災の拠点として、安全安心な地域づくりに向けた危機管理体制の確立や防災思想の普及啓発、住民への防災研修など、その中核を担うものとなり、災害に強いまちづくりへの基礎となる防災センターを設置する考えはないか	町長 教育長

## 質 問 者 ⑨久保田 武治 議員

質 問 事 項	質 問 要 旨	質問の相手
1 町長マニフェストの進捗状況について	(1) 若者の人口増と雇用の確保（企業誘致）はどこまで進んだのか。今後の取り組みは  (2) 多良木ブランドの確立は進んでいるのか  (3) ふるさと納税の情報発信、活用はどのように進めていかれるのか	町長

2 「平成悠久石」の観光振興は	(1) 観光資源としてのPRと活用をどのようにお考えか（槻木地区の振興と併せて） (2) 交通アクセスが重要なネックになっていると思うが、どのような改善策や対策をお考えか（槻木トンネルとの関連も併せて）	町 長
3 プラスチックごみ問題について	(1) 本町のプラスチックごみの回収、減量化の取り組みの現状について伺いたい (2) 今後の取り組みの方向性をどのようにお考えか	町 長
4 特養ホーム「福寿荘」の民営化について	(1) 民営化について、時期や事業所の選定方法などの検討はどこまでなされているのか (2) 現時点での入居者は引き続き入居できるのか。また、今後の待機者問題に、どう対応されるのか (3) 職員の処遇については、どのような検討・対応がなされるのか ア 正職員については、地方公務員としての身分保障がなされるべきと思うが イ 非正規職員や嘱託職員の雇用は確保すべきと思うが対応はどうか	町 長
5 全国学力テストに関して	(1) 本町の小・中学校のテスト結果について総括的には、どのような評価をお持ちか (2) 多くの自治体で、このテストの点数アップが「学力向上」として最優先で取り組み、子どもと教員を点数競争に追い立てているとの指摘もあるが、本町ではどうか (3) 今年度から中学3年に英語のテストが加わり、生徒と教員の負担が増大したとの懸念もあるようだが、どのようにお考えか	教育長

質 問 者 ⑦源嶋 たまみ 議員

質 問 事 項	質 問 要 旨	質問の相手
1 農業政策について	(1) 担い手不足と言われる中、本町の農地を守るためにどのような政策をお考えか (2) スマート農業についてどのようにお考えか	町 長

2 公共施設のあり方について	(1)各施設の現状は (2)問題視される施設を今後どのようにされるおつもりか	町 長 教育長
3 国土強靱化地域計画について	(1)どのように計画されるおつもりか (2)防災センターについてのお考えを伺いたい	町 長

## 質 問 者 ⑪猪原 清 議員

質 問 事 項	質 問 要 旨	質問の相手
1 防災について (令和元年度多良木町地域防災計画書に関して)	(1)火災予防について、前年度における防火診断件数等の実績を伺いたい (2)本町における公共施設の防火構造への切替えと耐震建築への切替えの進捗状況を伺いたい (3)本町における防災拠点施設（防災センター）の整備計画はどこまで進んでいるのか (4)本町における自主防災組織の育成状況と実際の訓練及び活動の状況を伺いたい (5)総合防災訓練はどのように（実施時期、参加者・団体の範囲、訓練場所等は）実施するのか (6)町は災害弱者のみ在宅世帯を把握しているのか (7)避難行動要支援者のための避難支援計画は策定されているか (8)黒肥地地区への福祉避難所の設置は計画しているか	町 長 教育長
2 国の「認知症施策推進大綱」に対する町の計画・取り組みについて	(1)本町における認知症サポーターの人数と活動状況を伺いたい (2)本町における認知症に対する啓もう活動を行う「先進事例」の取り組みはどのように行っていくのか (3)町として「認知症ケアパス」活用などの情報発信はどのように行っていくのか (4)町は認知症の方本人からの発信支援と、「本人座談会」「本人ミーティング」への取り組みをどのように行っていくのか (5)「認知症予防に資する可能性のある活動の推進」で、高齢者が身近に通うことができる場所の整備について、町は「介護保険の保険者機能強化推進交付金」の交付を受け、活用する準備（計画）はどのように行っていくのか	町 長

	<p>(6) 本町の「認知症初期集中支援チーム」の構成メンバーとその活動状況を伺いたい</p> <p>(7) 本町における「介護者負担軽減」への取り組みを伺いたい</p> <p>(8) 本町に「認知症カフェ」の設置予定はあるか</p> <p>(9) 本町における「認知症バリアフリー」への取り組みを伺いたい</p>	
3 本町における児童虐待の実態と今後の対策について	(1) 平成29年中、全国における児童虐待に関する相談件数は、確認しているだけで133,778件、熊本県では520件ということであるが、八代児童相談所に寄せられた相談に本町の児童が関係する事案はないか。また、今後本町関係での相談事案が発生した場合の対応はどのように考えているか	町長 教育長
4 町窓口での手続の簡素化について	(1) 転入や転出をはじめ町役場での諸手続にいくつもの課や係に回される。国は2022年度からマイナンバーカードが健康保険証としての機能を果たすことを打ち出している。マイナンバーが全国民に付与されていることから、マイナンバーでの一括した届出処理をするべきではないか	町長